

令和6年3月 経営協議会（対面・オンライン併用）議事録

I. 日 時 令和6年3月21日（木） 14時00分～15時52分

II. 出席者 中谷学長代行、犬養、岩田、河田、草開、黒木、塩尻、島田、銭谷、西堀、萩原、船橋、宮坂、藤江、小澤、丸山、堀、岩崎、伊藤、三木、横手、諏訪各委員

がざー 角倉監事
(欠席者：香藤、正宗、渡邊、米村各委員)

※下線はオンライン出席者

III. 前回議事録について
原案のとおり承認された。

IV. 審議事項（◎学外委員、○学内委員）

1. 全学規程等の制定改廃について

丸山理事から、全学規程等の制定改廃について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

2. 国立大学法人千葉大学就業規則等の一部改正等について

丸山理事から、国立大学法人千葉大学就業規則等の一部改正等について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

主な意見は以下のとおり。

◎ 医師の働き方改革を踏まえた所要の改正について、救急救命士を新たに配置するとあるが、医師とは別に消防署に配置しているような人材を、附属病院にも配置するのか。

○ 令和6年4月から開始する医師の働き方改革の新制度に伴い、消防署に勤務するような救急救命士を新たに附属病院に配置する。大学病院において、本学は早い段階で本取組みを進めている。

◎ 附属学校における働き方改革については、どのような取組みを行っているのか。

○ 現在教職調整額が4%となっているが、政府が10%に引き上げることを検討しており、本学においても、引き続き政府の動向を見極めて検討を続けていきたい。

3. 令和6年度予算編成（案）について

丸山理事から、令和6年度予算編成（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

主な意見は以下のとおり。

◎ 一教員あたりどのくらいの教育研究基盤経費が配分されるのか。

○ 教育研究基盤経費は、一教員あたり10万～50万程度配分されている。

- ◎ 予算編成について、附属病院においては、独立採算を行っていて、収支及び現在の取組み等を報告しているが、他の部局は現在の予算状況を踏まえ、どのように取組みを進めていくのかが見えにくい。他の部局においても、附属病院のように報告していただくことが可能か検討していただきたい。
- 新学長が各部局と話し合いを行い、各部局がどのように進めていきたいのか、どのような人材を育成していくのかを含めて、各部局とともに検討していきたい。

V. 報告事項

1. 医学部附属病院の運営状況について

横手副学長から、医学部附属病院における運営状況等について、資料に基づき報告があった。

主な意見は以下のとおり。

- ◎ 令和6年能登半島地震の震災があったことも踏まえ、以前行っていた「災害看護グローバルリーダー育成プログラム」のようなカリキュラムを再度検討していただきたい。
- 現在、全国で災害系の研究所は7つある中で、本学は「災害治療学研究所」が存在して、健康を守ることを旗印に掲げている。他の分野とも連携して進めていきたい。

2. 学長選考の結果について

宮坂学長選考・監察会議長から、学長選考の結果について、報告があった。

3. 令和6年度執行部体制及び部局長等の選考について

横手副学長から、令和6年度執行部体制及び部局長等の選考について、資料に基づき報告があった。

4. 令和6年度経営協議会開催日程について

中山企画部長から、令和6年度経営協議会開催日程について、資料に基づき報告があった。

5. その他

①令和6年度国立大学一般選抜志願者数について

中谷学長代行から、令和6年度国立大学一般選抜志願者数について、資料に基づき報告があった。

主な意見は以下のとおり。

- ◎ 千葉大学は9年連続で国立大学一般選抜志願者数が第1位で、志願倍率も5倍以上の優秀な結果であるが、志願倍率が2倍を割るような学部はあるのか。
- 志願倍率が2倍を少し割るコースも一部存在するが、多くの学部は2倍を超えている。
- ◎ 来年度から設置される情報・データサイエンス学部の志願倍率はどうか。
- 4. 2倍であった。

②日本学士院賞授賞の決定について

中谷学長代行から、日本学士院賞授賞の決定について、資料に基づき報告があった。

主な意見は以下のとおり。

- ◎ このような賞を授賞され、業績を得られた場合は、本会議等でさらに積極的に報告していただきたい。

以 上